

2024年3月期

# 決算補足説明資料



証券コード：3583

**オーベクス株式会社**

# 当社グループの事業

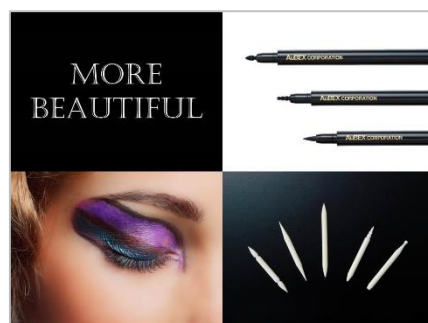
当社グループは、2つのセグメントで事業活動を行っています。

## テクノ製品事業

サインペン先、マーキング用ペン先などの筆記具関連、アイライナー用ペン先、ネイルケア用ペン先などのコスメチック関連を主力製品として、その他スタイラス用ペン先などのPC周辺関連をはじめ、芳香剤用芯などを取り扱っております。



ステーショナリー



コスメチック



スタイラスペン



医療機器

## メディカル製品事業

自社開発の流量制御チューブを採用した薬液注入器(ベセルフューザー)や安全性と利便性を追求した親水性ガイドワイヤーを主力製品として、その他に医療用部材を取り扱っております。

		前期比	
連結業績	売上高	5,387百万円	1.4%増 
	営業利益	560百万円	10.0%減 
	経常利益	600百万円	6.0%減 
	当期純利益	436百万円	7.0%減 

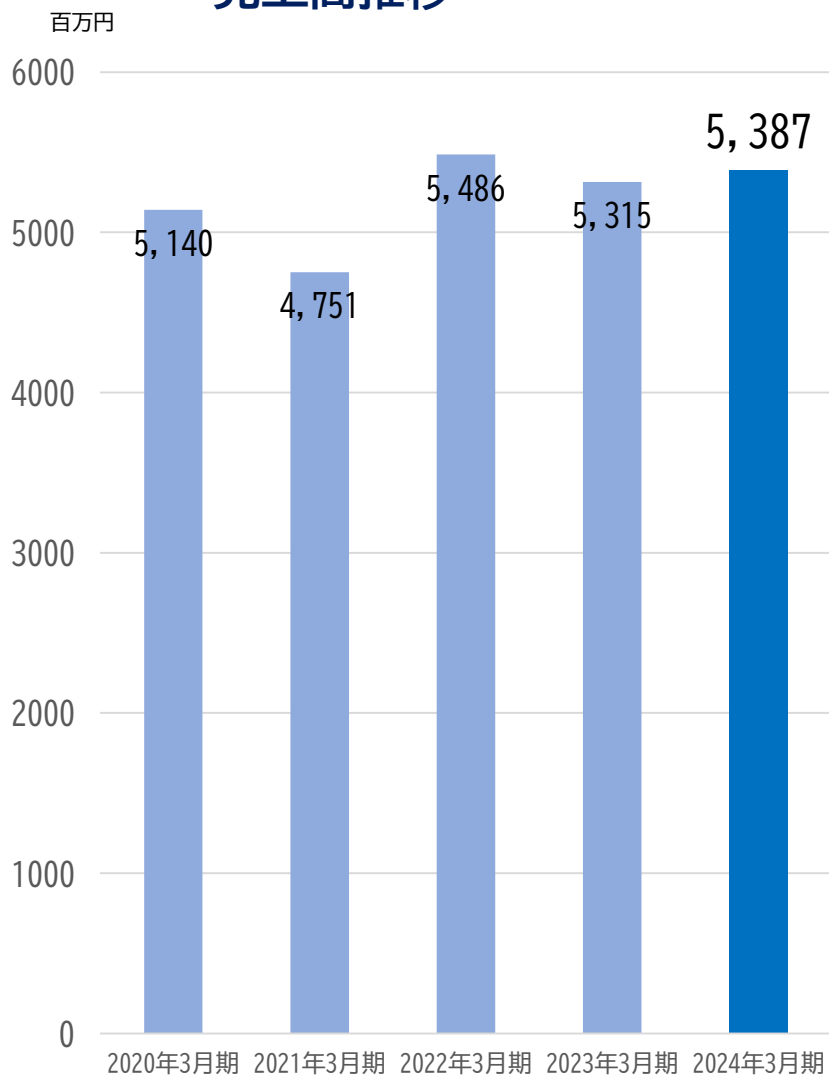
- ・売上高は、テクノ製品事業の売上がやや下振れしたものの、メディカル製品事業の売上が堅調に推移したことにより、1.4%増の5,387百万円。
- ・営業利益は、高付加価値製品の売上減少およびコスト増加の影響等により、10.0%減の560百万円。
- ・通期業績予想に対する達成率は、売上高99.8%、営業利益101.8%、経常利益113.2%、当期純利益111.9%。

# 2024年3月期 業績（連結） および2025年3月期 業績予想（連結）

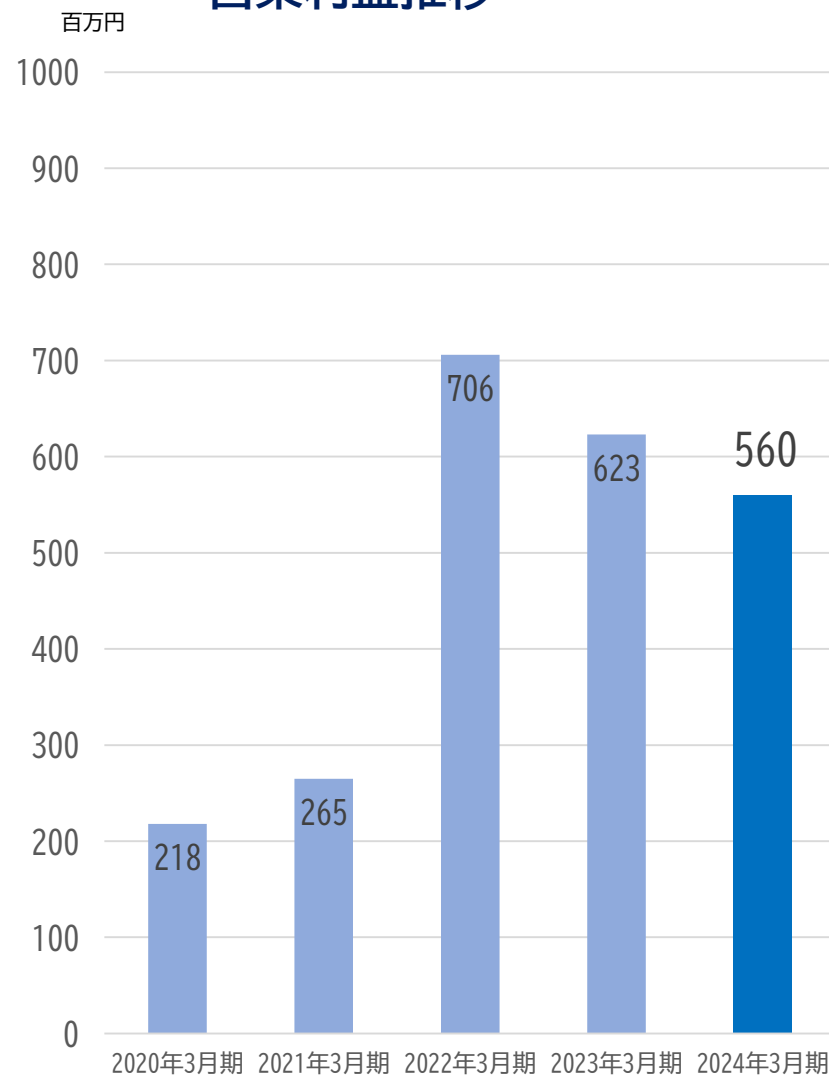
（百万円）	前期 2023年3月期	2024年3月期 業績予想	当期 2024年3月期	前期比	通期予想に 対する 達成率	2025年3月期 業績予想
売上高	5,315	5,400	5,387	101.4%	99.8%	5,700
営業利益	623	550	560	90.0%	101.8%	630
営業利益率	11.7%	10.2%	10.4%	—	—	11.1%
経常利益	639	530	600	94.0%	113.2%	610
親会社株主に帰属する 当期純利益	469	390	436	93.0%	111.9%	460

# 売上高・営業利益推移（連結）

## 売上高推移



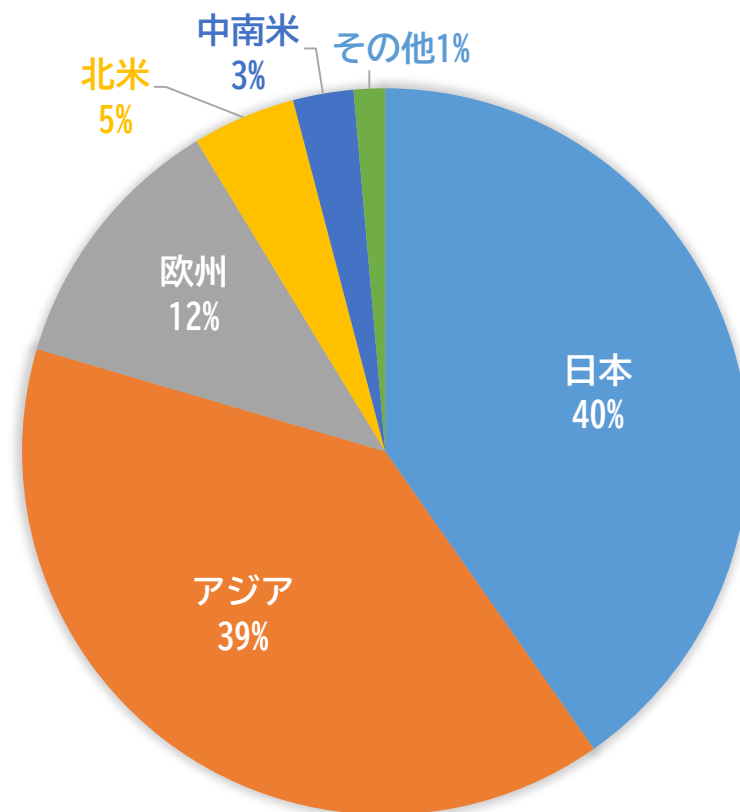
## 営業利益推移



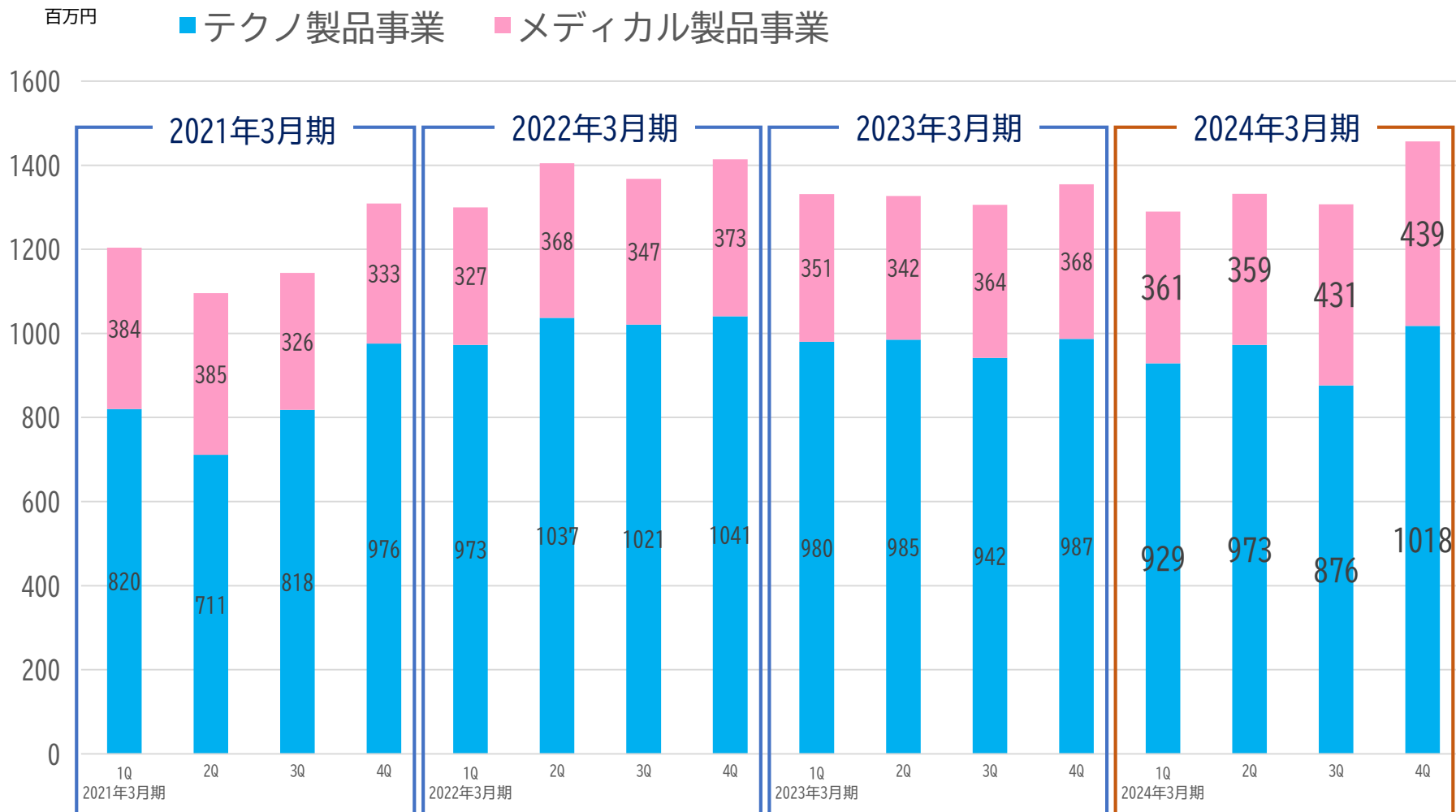
# エリア別売上高（連結）

地域区分	前期 2023年3月期 (百万円)	当期 2024年3月期 (百万円)	前期比
日本	2,041	2,168	106.2%
アジア	1,806	2,115	117.1%
欧州	900	633	70.4%
北米	287	248	86.3%
中南米	189	145	77.1%
その他	89	75	84.2%

エリア別売上高比率 2024年3月期



# 四半期別売上高推移（セグメント）



新型コロナウイルス

ウクライナ侵攻

# セグメント別業績

## テクノ 製品事業

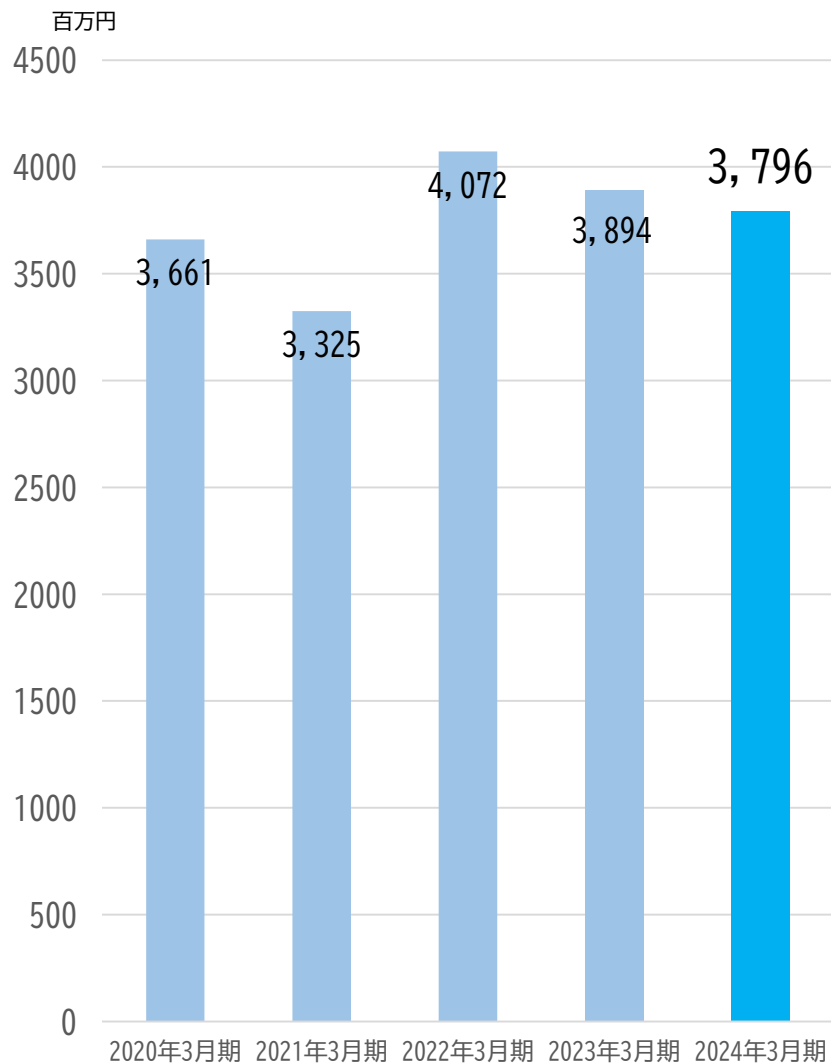
		前期比	
売上高	3,796百万円	2.5%減	↓
セグメント 利益	741百万円	10.9%減	↓
セグメント 利益率	19.5%	1.9ポイント減	↓

- ・売上高は、中国を含むアジア地域が伸びたものの、欧州および北米地域が低調に推移したため、前期比2.5%減の3,796百万円。
- ・セグメント利益は、高付加価値製品の売上の伸び悩みに加えて、原材料費、電力費、輸送費等のコスト高により、前期比10.9%減の741百万円。

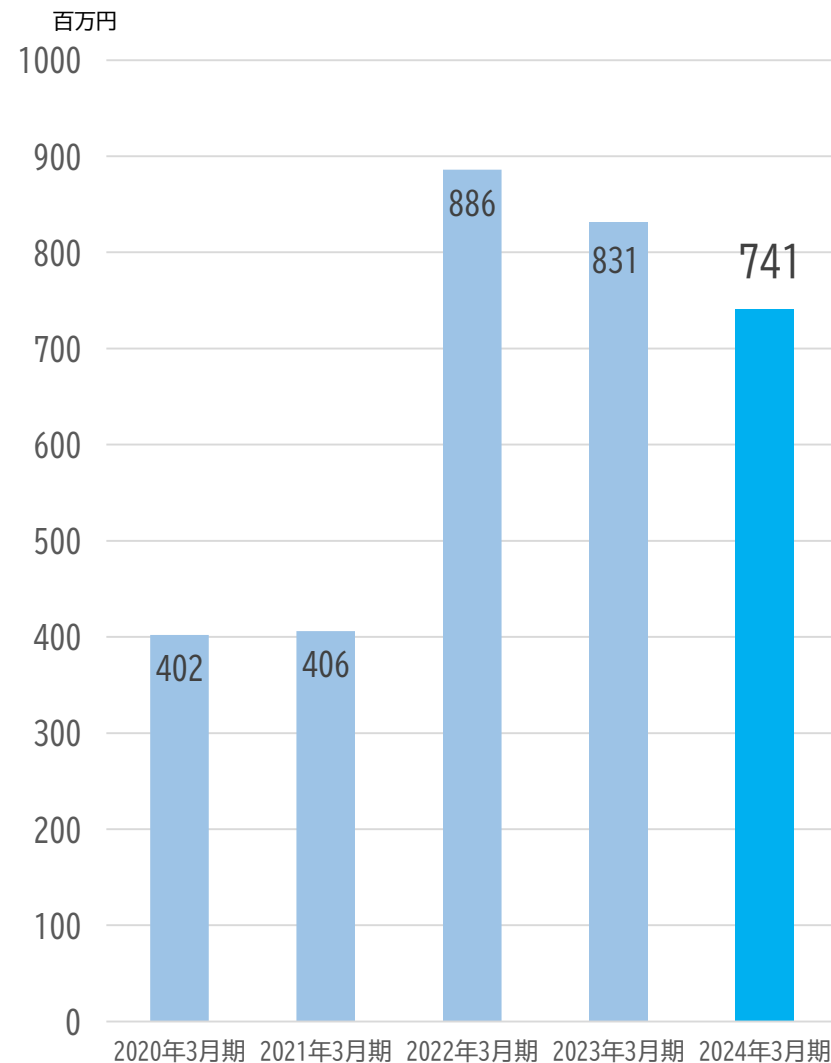


# テクノ製品事業 売上高・セグメント利益推移

## 売上高推移



## セグメント利益推移



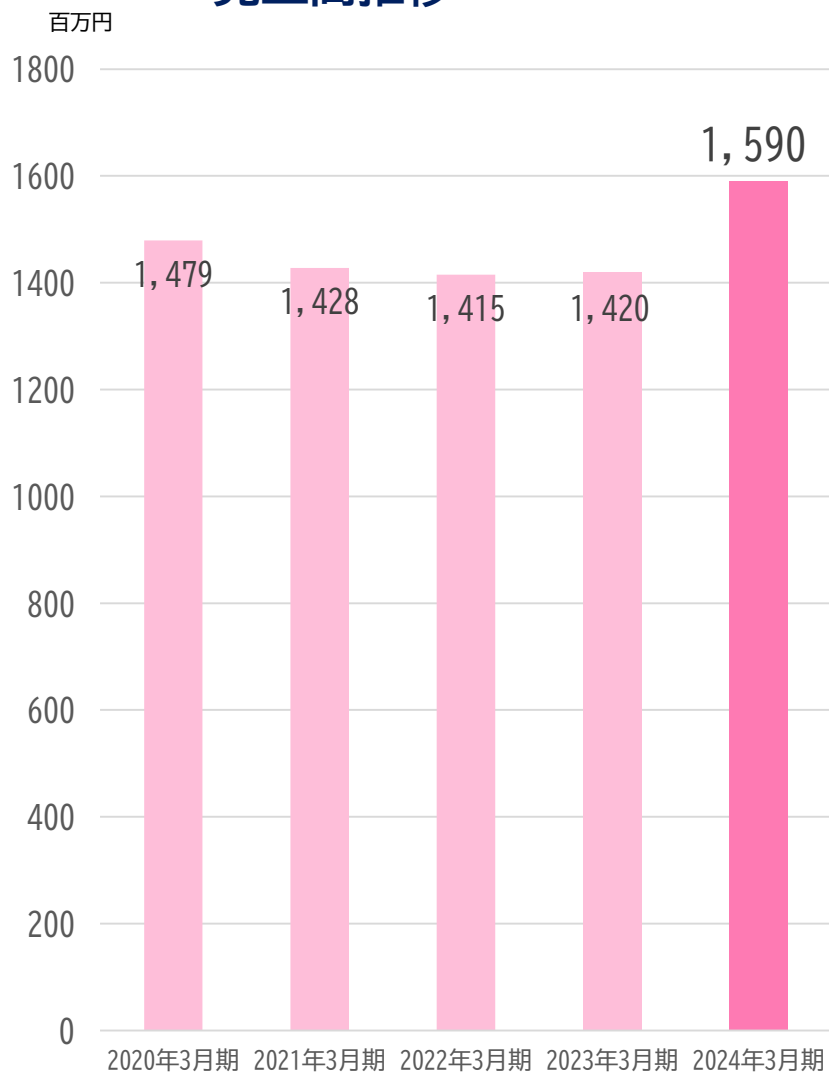
# セグメント別業績

## メディカル 製品事業

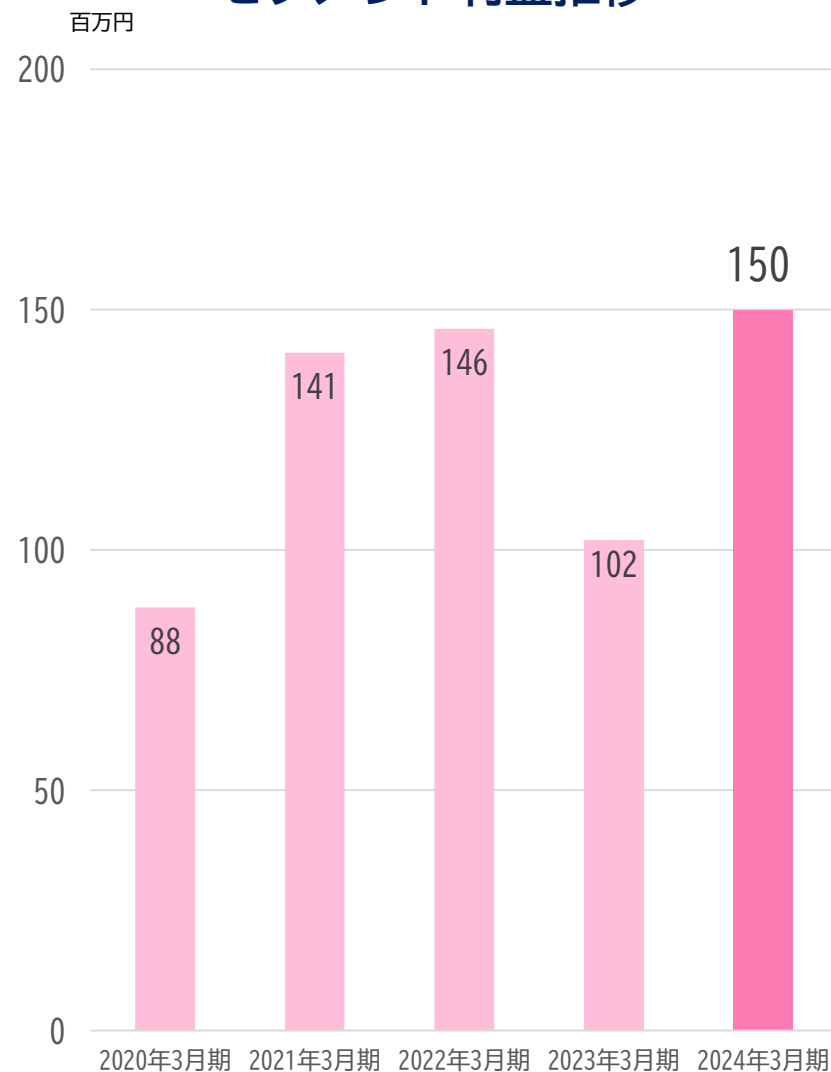
		前期比	
売上高	1,590百万円	12.0%増	↑
セグメント 利益	150百万円	47.0%増	↑
セグメント 利益率	9.4%	2.2ポイント増	↑

- ・売上高は、コロナ禍の影響が解消し、積極的なプロモーション活動と販売活動の結果、前期比12.0%増の1,590百万円。
- ・セグメント利益は、売上増加と価格改定やコスト削減等の効果により、前期比 47.0%増の150百万円。

## 売上高推移



## セグメント利益推移



# 参考情報

# 連結損益計算書

(百万円)	前期 2023年3月期	当期 2024年3月期	前期比
売上高	5,315	5,387	101.4%
売上原価	3,435	3,511	102.2%
売上総利益	1,880	1,875	99.8%
販売費及び一般管理費	1,256	1,315	104.5%
営業利益	623	560	90.0%
(営業利益率)	11.7%	10.4%	—
経常利益	639	600	94.0%
税金等調整前当期純利益	680	600	88.2%
法人税等	211	163	77.5%
当期純利益	469	436	93.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	469	436	93.0%

# 連結貸借対照表

(百万円)	前期末 2023年3月末	当期末 2024年3月	増減額
流動資産	5,925	6,342	+417
固定資産	3,402	3,378	△23
資産合計	9,328	9,721	+393
流動負債	1,383	1,748	+364
固定負債	2,111	1,716	△394
負債合計	3,494	3,465	△29
純資産	5,833	6,256	+423
負債・純資産合計	9,328	9,721	+393

真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、  
豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。

人と社会に正しい貢献を。

いつの時代も、可能性をあきらめず、まっすぐに。

「より役立つもの、より優れたもの」を。

モノづくりを通じて拡がる未来へ。

## オーバクスビジョン2024

### 基本方針

新市場（スタンダード市場）において  
持続的成長と企業価値向上を具現化する

### スローガン

「 Change + Update “チェンジ プラス アップデート” 」

最終年度 定量目標（連結）

3ヶ年合計

売上高

62億円

営業利益

8.3億円

設備投資

10億円



# サステナビリティへの取組

当社の創業者である渋沢栄一翁の経営哲学「道德経済合一説」（仁義道德と生産殖利とは元来ともに進むべきもの）は、持続可能な社会を目指すものであります。その精神を受継ぐ当社は、「真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。」を経営理念に掲げ、「オーバクスグループ行動規範」を定めるとともにリスクマネジメント方針をはじめとする各方針を策定しております。環境問題、社会的課題への対応を経営課題の重要事項のひとつと位置付け、ESG経営を推進することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

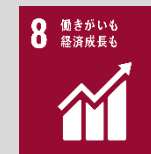
## 環境 Environment

大気汚染対策 廃棄物対策  
環境に配慮した製品開発



## 社会 Social

働き甲斐のある職場環境 人財育成  
人権の尊重 地域社会への貢献



## ガバナンス Governance

コンプライアンス（法令と社会規範の遵守）  
積極的な情報開示 リスク管理



## 配当方針

利益配分に関しましては、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと考えており、将来に向けた研究・開発、設備投資等を行うための内部留保の充実を図りつつ、中長期的視野に立って収益に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

## 配当実績・予想

		138期 2023年3月期	139期 2024年3月期	140期（予想） 2025年3月期
1株当たり 当期純利益 (連結)	円	169.17	156.80	165.14
1株当たり 配当額	円	20	20	25 記念配当 5円含む

### 本資料のお取り扱い上の注意

本資料に記載された見解や見通し、ならびに予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。また、本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。